

公園内で見られる植物他

写真は8月29日(土)
自然観察会で見られた
植物です



クズ (マメ科)

秋の七草の一つ。根からとったデンプンが葛粉で、高級和菓子に使われます。根を乾燥したものを風邪薬の葛根湯に用います。野山に普通に見られ、花の香りはフルーティー！



ソライロタケ (イッポンシメジ科)

名前のとおり全体が空色の美しいきのこ。傷ついた部分は黄変します。食用ではありません。



マツブサ (マツブサ科)

実が黒くブドウのように熟すので、別名ウシブドウとも呼ばれるツル性の植物。ツルにはコルク質が発達し弾力があります。実は松ヤニのような匂いがします。果実酒として利用できます。



クサギ (クマツヅラ科)

枝や葉をちぎると強い臭気があることから臭木といますが、たくさん咲く白く美しい花には芳香があります。実が熟すと藍色になり、真紅の萼とのコントラストが美しいです。



ネコノチチ (クロウメモドキ科)

名前の由来は果実を猫の乳首に見立てたことによります。葉っぱが左右交互に2枚ずつ付く変わった樹木です。



カマキリの脱皮

脱皮中のカマキリを見つけました。数回の脱皮を繰り返して成虫になるらしいのですが、無事に成虫になり飛べるのは少ないそうです。皆様も見つけてみてね。



ツユクサ (ツユクサ科)

別名ボウシバナ。この帽子花は苞の形によるもの。古くは花の汁をこすり付けて布を染めたことからツユクサ (着草) とも呼んだそうです。全草を乾燥したものは民間薬として利用されるとか。



オニグルミ (クルミ科)

この丸い実の中にご存知の表面にシワがある硬い殻の実が入っています。栽培されお菓子の飾りつけなどに重宝されるクルミは、食べる部分の多いテウチグルミです。



キツネノハナガサ (ハラタケ科)

弱々しく可憐なきのこで、傘の径は2～4cm、柄の長さ4～8cm。傘は極めて薄く放射状溝線があり扇のひだ状で、このひだの峰の部分にレモン色の粉をつけます。食用ではありません。